

抽出案件審議の際に出された入札制度に対する意見（課題の整理）

予定価格について

- ・（多くの辞退者があった指名競争入札案件について）採算の悪い工事だから、技術者が配置できないという最もらしい理由を言って辞退したところもあるのではないか。
- ・（上記と同じ案件について）今後このような案件があった場合には、予定価格が適切だったかどうか調べる必要があるのではないか。
- ・これから一般競争入札になって、業者が参加しなくなるということが考えられるので、予定価格の設定というものを配慮しないとイケない。
- ・高落札率だった場合には、予定価格が本当に適正だったのかということも今後調査していかないといけないのではないか。
- ・応札状況がどう変わるのかを見て、予定価格の妥当性についても議論すべき。

最低制限価格について

- ・最低制限価格の設定方法は公表すべきではないか。
- ・（最低制限価格未満で失格者が出た案件について）落札者との差が僅かしかなく、失格した業者は納得いけないのではないか。
- ・入札額による変動制を導入すると一種の博打みたいになってしまう。

総合評価について

- ・（最低制限価格未満で失格者が出た案件について）総合評価にすれば問題が解消される。
- ・非価格競争で太刀打ちできない業者は、価格競争に拍車をかけるおそれがある。

その他

- ・過去にある業者がやった所には手を出しにくいという状況があるのではないか。